

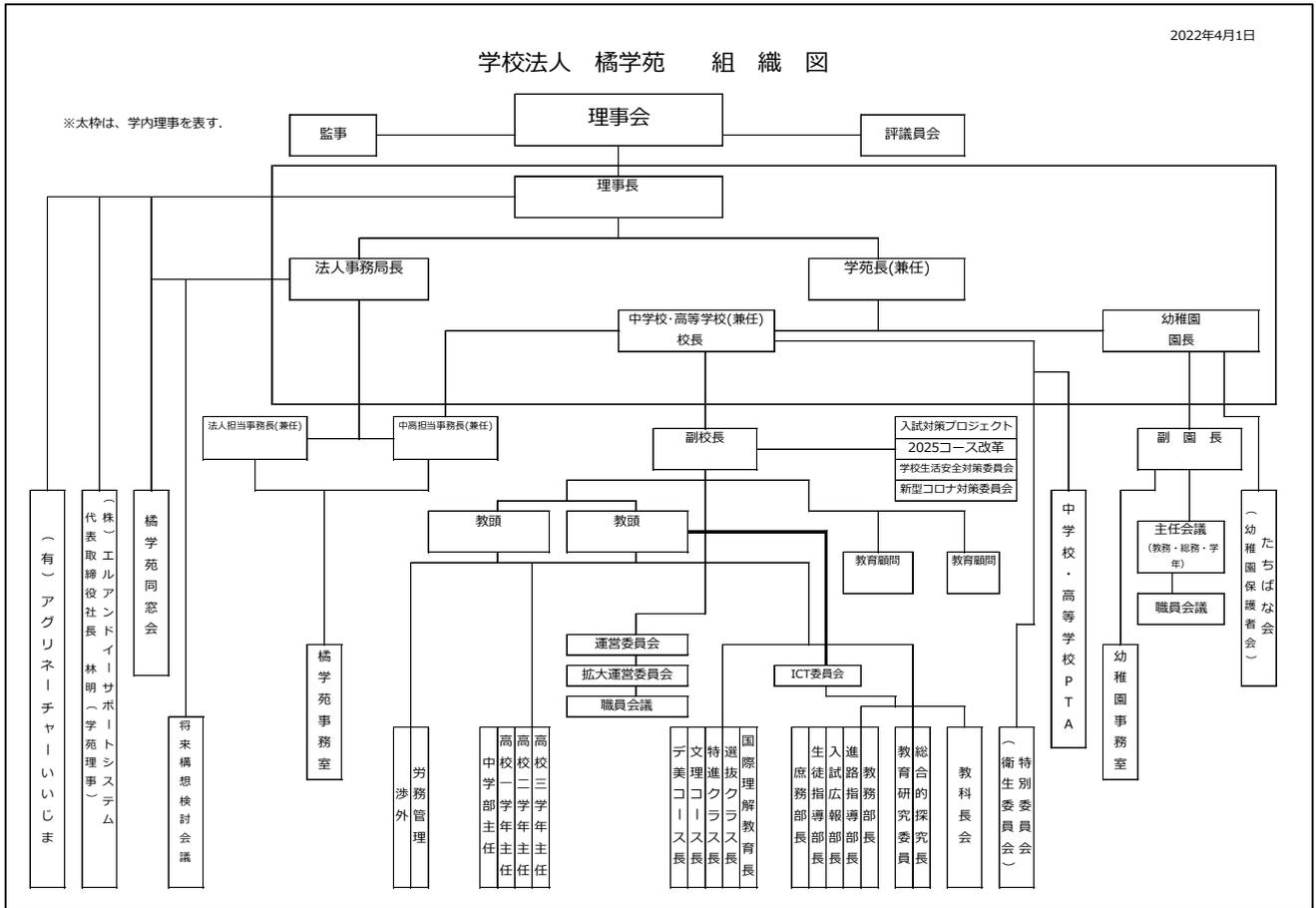
# 令和4年度 事業報告

令和5年5月27日

学校法人 橘 学 苑

# I. 法人概要

## 1. 組織図



## 2. 設置する学校等

※令和4年5月1日現在(現況調査より)

設置学校等	入学定員	収容定員	在籍人数	収容定員充足率
橘幼稚園	80人	190人	182人	96%
橘学苑中学校	80人	240人	67人	28%
橘学苑高等学校	220人	660人	867人	131%
合計	380人	1090人	1116人	102%

## 3. 教職員数

※令和4年5月1日現在(現況調査より)

設置学校	専任教諭(常勤含)	教諭(非常勤)	職員等	計
中学校	8		1	9
高等学校	52	12	7	71
幼稚園	15	10	1	26
合計	75	22	9	106

## Ⅱ. 各事業報告

### 中学校・高等学校

#### 【創立の精神】

- 一 心すなおに真実をもとめよう
- 一 生命の貴さを自覚し、明日の社会を築くよろこびを人々とともにしよう
- 一 正しく強く生きよう

#### 1. 令和4年度入学生 生徒募集について

##### 【入学者の内訳と推移】

推薦-専願	161名
併願入学	214名（受験者 1131名）
内進生	25名

高校入学者	400名
中学入学者	24名
中高入学者総数	424名

- (1) 令和4年度入学者数は高校・中学ともに増加しました。特に高校においては、総合の推薦・専願・併願や特進の併願・デビの併願がそれぞれ昨年度を大きく上回りました。
- (2) コロナ禍のため、説明会は人数制限やコロナ対策など様々な対応が求められました。しかし、各教室を使い少人数規模での説明会を実施したことにより、多くの生徒を受験に結び付けることができました。
- (3) 中学入試は生徒確保のため新たな取り組みとして適性検査型入試を導入し、出願者数は増加しましたが、入学には繋がりませんでした。

#### 2. 令和4年度卒業生進路実績について

##### 【大学進学 of 推移】

卒業生数	225名
合格数	178名
進学率	79.1%

##### 【主な合格大学】浪人を除く

国公立	2名
GMARCH	6名
成成明獨國武	14名
日東駒専	31名
神奈川	25名
関東学院	19名
玉川	7名
大東亜帝国	45名
立正	6名
五美大	14名

- (1) 四年制大学への進学率がほぼ80%で安定してきました。しかし昨年度より上位大学への合格者が減少しました。
- (2) 3年間コロナ禍で過ごした生徒達でしたが、学年と進路部、教育研究部が連携し指導に当たりました。また、全校生徒に英検の受験を義務化し受験への意識を高めました。

### 3. 令和4年度学校目標の達成状況について

年度初めの職員会議において、学校の方向性を教職員全体で共有し、目標と方針を掲げ、各部署を通じて教員一人ひとりが実行していくようにしました。さらに、年度末に総括を行い、成果と課題を明らかにしつつ、次年度に繋げるようにしました。

高校においては国際コース募集停止を実施、中学校においては来年度からの募集停止を発表しました。2025年の学校改革に向けて計画を前に進めることができました。

### 4. 令和5年度入学生について

#### 【入学者の内訳と推移】

推薦-専願	151名
併願入学	219名（受験者1045名）
内進生	15名
オープン	9名
高校入学者	397名
中学入学者	19名
中高入学者総数	416名（昨年度424名）

- (1) 令和5年度入学者数は国際コース廃止にも関わらず、高等学校が昨年同様定員の1.8倍強になりました。特にデザ美や特進の増加が目立ったのが今年度の特徴です。
- (2) 教室の関係から入学者数を少し絞るため説明会の人数を絞りましたが、入学者は微減でした。
- (3) 中学入試は来年度の募集停止を発表したにも関わらず、19名の入学者を確保しました。

## 幼稚園

### 1. 令和4年度 事業報告 教育・保育活動の取り組みについて

少子高齢化・共働き家庭の増加を筆頭に新型コロナウイルスの流行による影響が加わり、子どもを取り巻く環境が大きく変化しています。少子化傾向は、昨年度出生数が80万人を割り第一次ベビーブームであった240万人（昭和20年代）から下がり続け、1家庭あたりの子どもの数が4.3人から1.3人となっています。また、欧米諸国と同様に女性が働きながら子育てをすることが日常的になり、乳幼児から長時間預かり保育を行う保育所を選ぶ傾向が顕著に表れ、家族世帯の6割から7割に近づいています。今後も更に保育所のニーズが高まり、保育所事業が乳幼児保育の主流となると予測されます。

### 2. 令和4年度 保育主題の振り返り

令和4年度の主題を「生涯にわたる人格形成の基礎を培う」とし、副題に「遊びや生活を通して、子ども自らが主体的に活動し学びと生きる力に繋げる」にしました。幼稚園は、子どもが社会生活・集団経験を始めて体験し学ぶ場所です。近年では、子どもの成長や発達の低年齢化と遅れを感じ、子ども自らが育つ環境づくりの再構築が必要とされる状況です。新型コロナウイルス感染による人と関わることへの制限が、さらに子どもの成長発達を妨げていることを考えさせられた年度でした。

### 3. 主な事業

令和4年度の園児数は、幼稚園利用定員190名に対して、年長5歳児72名（男児39名 女児33名）、年中4歳児62名（男児36名 女児26名）、年少3歳児50名（男児30名 女児20名）、園児数合計184名 7クラス

で行いました。今後幼稚園将来構想に向け、園児数と教員数のバランスと横浜市型預かり保育を含めた保育内容を考えてまいります。

- (1) 2025(令和7年)「橘学苑教育改革」に向けての動きとして、「横浜市型預かり保育事業」を、令和4年度10月から開始しました。初年度利用数15名から20名程度を目標にしていますが、実際には54名の登録がありました。これにより今後は、共働き働き世代のニーズを受けることと、横浜市からの補助加算対象額が収入増になります。

今後の課題としては、こどもの預かり時間が午前7時30分から午後6時30分までの最長11時間となり、こどもの生活時間の在り方や教職員の勤務形態が想定していたよりも実際は大変でした。改善に向かっては、教員の勤務形態を中心に考えてまいります。

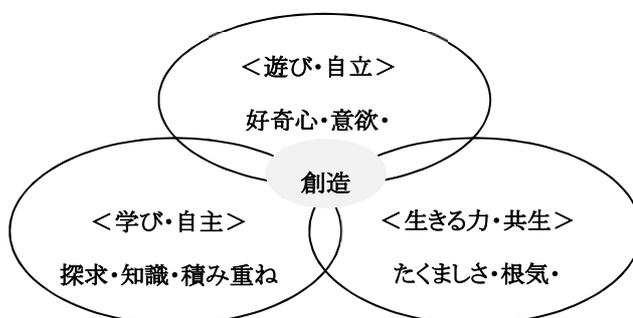
- (2) 勤務内容の効率化を図るためにパソコン・インターネットの活用を進めてまいりました。具体的には、ICTの環境を整え園児の行動記録や会議資料のペーパーレス化、配信による職員会議・保護者懇談の時間短縮と調整の簡素化、事務業務の整理などを目標にしました。今後の課題としては、①電子機器やインターネット等を扱うことができる人材が必要であること、②業務の簡素化を進めるにあたっては、特にキャッシュレス化(法人キャッシュカード)導入等検討段階から実際にすることが求められています。

#### 4. その他

経年劣化している園舎の改修改善工事として、4年度は①園舎2階教室の床を全面改修 ②預かり保育延長時間に合わせ安心安全のため園庭に照明器具を設置しました。

#### 5. 令和4年度の保育内容について

創立の精神を土台にした保育内容（遊び＝学び＝生きる力）



文科省による幼児期の終わりまでに育ってほしい姿と教育要領

- ・健康と安全を大切にする心身の【健康】に関する領域
- ・他の人と仲良く、思いやりをもって生活する【人間関係】の領域
- ・周りの環境に興味を持ち関わって生活する【環境】に関する領域
- ・自分の言葉で表現し伝え、相手の言葉も受け入れて聞くという【言葉】の表現の領域
- ・自分の感じた事、考えたことを表す事で感性を養い、創造性を育む【表現】の領域

# 法人

## 1. 概況

### (1) 新型コロナウイルス感染症に対する感染対策について

令和3年度に引き続き、感染対策として中高、幼稚園の共有部及びトイレの消毒作業を外部業者に委託しました。この事により学内での感染を抑制することができました。また、教職員の業務軽減に繋がりました。

### (2) 学校改革

一連の騒動を受け、中高においては令和2年2月17日の中高職員会議において、「4つの改革」を提示し、その後、令和7(2025)年度実施を目標に策定された「学苑改革スケジュール」を推し進めてまいりました。

#### 【4つの改革】

- ・進路実績の向上を実現する教育改革
- ・教職員の評価制度の導入
- ・橘学苑の働き方改革
- ・風通しの良い組織風土の構築

上記4つの改革の内、

「橘学苑の働き方改革」について

- ・中高において、令和3年11月以降、管理職が教職員の労働時間の管理を厳密化したことにより、時間外勤務及び休日勤務の割増賃金が昨年度より約1/3となりました。
- ・教職員の時間外及び休日労働を軽減することで、ライフワークバランスの促進と財政的な軽減となりました。
- ・幼稚園は、令和4年10月より「横浜市型預かり保育」を導入したことにより、朝夕の保育業務が追加されました。労働時間を「早番」、「通常」、「遅番」の3つのシフトで取り組み始めました。

## 2. 学苑財政の健全化

ここ数年の学苑財政は、支出超過傾向が常態化しています。学苑財政の健全化は、「学苑改革スケジュール」の重要な課題であり、令和4年度は、次の点に着手しました。

### (1) 安定的な募集について

#### ① 幼稚園

令和4年10月より横浜市型預かり保育を導入しました。

#### ② 中学校

令和5年度入学生は19名となりました。

#### ③ 高等学校

募集定員220名に対して、令和4年度入学者数は400名、令和5年度入学者数は397名となりました。

### (2) その他の収入の確保

#### ① 補助金収入

- ・幼稚園の補助金は、計画的に毎月安定した収入となりました。
- ・中高の補助金は、高等学校の入学者が昨年度より大幅に増員した結果、昨年度より約1500万円減額となりました。

#### ② 収益事業の見直し

- ・株式会社エルアンドイーサポートシステムの営業が終了することを受け、学苑は有限会社マサスポーツシステムと直接交渉し、令和5年4月からの契約締結に向け準備いたしました。

(3) 主な修繕工事

本年度は、2号館図書室内自習室及び図書室前自習スペースの設置工事を実施しました。

(4) 人件費抑制

支出超過を改善する上で、支出の大半を占める人件費を抑制することとし、役員及び中高教職員の人件費を抑制いたしました。

(5) 借入金

本年度の借入金を滞りなく返済し、新たな借入はありませんでした。

以上